

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 22 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 22 日 作成

総合計画体系	事務事業名	小中学校教職員等健診事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	教育委員会事務局教育部	課長名 中島 正剛
	施策	19	義務教育の充実	所属課	学校教育課	担当者名 佐伯 幸治
	基本事業	65	指導力の向上	所属班	学務指導班	(内線) 2234
				法令根拠 学校保健法第8条		

予算科目	会計 01	款 10	項 02	目 01	事業連番 10715・10716	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果 10	コスト削減優先度評価結果 6
------	-------	------	------	------	------------------	----------------------------------	-----------------------------------	--------------	----------------

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 不明 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
小中学校教職員の疾病の予防、身体の安全の確保を図り、学校教育の円滑な実施を図る。
【業務の流れ】
健診機関との委託契約事務、委託料支払い事務、結果確認事務
【主な予算費目】
委託料

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 平成20年度に同じ
① 手段(主な活動)	20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 児童生徒の育成に携わる教職員の健康管理のため健康診断を実施。 胃検診・レントゲン・一般検診	
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	小中学校教職員	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ⇒ ア 検診を受診した教職員数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	小中学校教職員を健康な状態にし、支障なく児童生徒の教育に取り組んでもらう	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ⇒ ア 小中学校教職員数 人
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	指導力が身につく	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ⇒ ア 検診率 %
		⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ⇒ ア 研究授業の実施率 %

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業内訳	単位	18年度	19年度	20年度	20年度	21年度	22年度	23年度	全体計画 ~ 年度
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	(目標)	(予定)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0
	都道府県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	繰入金	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	1,930	1,754	2,989	1,726	3,112	3,200	3,200	
	(A) 事業費計	千円	1,930	1,754	2,989	1,726	3,112	3,200	3,200	
人件費	うち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	うち時間外、特殊勤務手当	千円	0	0	0	0	0	0	0	
	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3	3	
	延べ業務時間	時間	84	84	84	84	84	84	84	
(B) 人件費計	千円	333	334	334	334	334	334	334	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,263	2,088	3,323	2,060	3,446	3,534	3,534	0	

活動指標	人	189	182	182	260	260	260	260	目 標 合 計 値 画 22 年 度
対象指標	人	360	360	360	307	307	307	307	
成果指標	%	52.5	50.6	50.6	84.7	84.7	84.7	84.7	
上位成果指標	%	89	101	110	129	120	130		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
学校保健法第8条に基づき開始された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
法に基づいたものであり変化なし

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
なし

事務事業名	小中学校教職員等健診事業	所属部	教育委員会事務局 教育部	所属課	学校教育課
-------	--------------	-----	-----------------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 教職員が健康でありことは、毎日の授業を行うことができることであり、義務教育の充実に結びつく。 意図の小中学校教職員を健康な状態にし、支障なく児童生徒の教育に取り組んでもらうことにより、結果の指導力が付くことに結びつく
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 学校設置者の市が行うように法に定められている。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象、意図とも現状で適切である
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 成果の向上余地はないが、現状を維持していくためには事業の継続が必要である。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 法に定められた事項であり、休止、廃止は法が改正されない限り考えられない。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 類似事業はない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 必要最低限の事務時間であり削減できない。 委託するような業務時間でない
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 法に定められた事項である、議論の余地はない。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
<p>① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>	⇒

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	9	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)